

評価規準の作成 算 数

小学部2段階の「B 図形」アを取り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf

（小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）

平成31年3月29日 別紙4）



- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料（令和2年4月）」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は、山形県教育センターによるものです。

小学部2段階の「B 図形」ア

小学部【算数】 内容			中学部【数学】	
1段階	2段階	3段階	1段階	
<p>ア ものの類別や分類・整理に関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったすること。 ⑧ 形を観点に区別すること。 ⑨ 形が同じものを選ぶこと。 ⑩ 似ている二つのものを結び付けること。 ⑪ 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。 ⑫ 同じもの同士の集合づくりをすること。 <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑬ 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付く、諸感覚を協働させながら具体物を捉えること。 ⑭ ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心をもつこと。 ⑮ ものともとの関係性に注意を向け、ものの属性に気付く、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすこと。 	<p>ア ものの分類に関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 色や形、大きさに着目して分類すること。 ⑧ 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。 <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨ ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。 	<p>ア 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ ものの形に着目し、身の回りにもあるものの特徴を捉えること。 ⑧ 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 ⑨ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。 <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 ⑪ 身の回りにあるものの形を図形として捉えること。 ⑫ 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。 	<p>ア 図形に関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 直線について知ること。 ⑧ 三角形や四角形について知ること。 ⑨ 正方形、長方形及び直角三角形について知ること。 ⑩ 正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりすること。 ⑪ 直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること。 ⑫ 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすること。 ⑬ 正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりすること。 <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を見るとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えること。 	<p>ア 図形 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 二つの図形を比較すること。 ⑧ 二つの図形を組み合わせること。 ⑨ 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすること。 ⑩ 正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりすること。 ⑪ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を見るとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えること。
	<p>イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ること。 ⑧ 縦や横の線、十字、△や□をかくこと。 	<p>イ 角の大きさに関わる数学的活動 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 傾斜をつくると角ができることを理解すること。 <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、 		<p>イ 図形 (ア) 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 面（cm²）の面積を測ること。 ⑧ 正方形の面積を測ること。

図形

知的障がいのある児童生徒の各教科等の目標・内容一覧表「算数／数学」より

小学部2段階の「B 図形」ア

<p>B 図形 (1段階はC)</p>	<p>ア ものの類別や分類・整理に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>ア 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>
	<p>(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。 ㊧ 形を観点に区別すること。 ㊨ 形が同じものを選ぶこと。 ㊩ 似ている二つのものを結び付けること。 ㊪ 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。 ㊫ 同じもの同士の集合づくりをすること。 	<p>(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ 色や形、大きさに着目して分類すること。 ㊧ 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。 	<p>(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。 ㊧ 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 ㊨ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりととの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりととの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

算数の目標

知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。
学びに向かう力・人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようと する態度 、算数で学んだことを学習や生活に活用しようと する態度を養う 。

評価の観点及びその趣旨

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解している。 日常の事象を数量や図形に着目して処理する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり 目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている 。
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようと したり 、算数で学んだことを学習や生活に活用しようと したりしている 。

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

2段階 「B 図形」の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付け るようにする。	知識・技能	身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付け ている。
思考力・判断力・表現力等	身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を 養う。	思考・判断・表現	身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を 身に付けている。
学びに向かう力・人間性等	図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって 学ぶ態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって 学ぼうとしている。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

B 図形

ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。

⑦ 色や形，大きさに着目して分類すること。

⑧ 身近なものを目的，用途及び機能に着目して分類すること。

(イ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

⑨ ものを色や形，大きさ，目的，用途及び機能に着目し，共通点や相違点について考えて，分類する方法を日常生活で生かすこと。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.100)

(下線)…知識及び技能に関する内容

(長破線)…思考力，判断力，表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「知識・技能」のポイント

- 基本的に、当該内容のまとまりで育成を目指す資質・能力に該当する指導事項について、育成したい資質・能力に照らして、「知識及び技能」で示された内容をもとに、その**文末を「～している」「～できる」**として、評価規準を作成する。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「思考・判断・表現」のポイント

- 基本的に、当該内容のまとまりで育成を目指す資質・能力に該当する指導事項について、育成したい資質・能力に照らして、「思考力，判断力，表現力等」で示された内容をもとに，その文末を「～している」として，評価規準を作成する。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- 当該段階目標の各領域(A～D)のウの**主体的に学習に取り組む態度の「観点の趣旨」**をもとに、**指導事項を踏まえて**、その**文末を「～している」として**、評価規準を作成する。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準(例)】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
知識及び技能	㊦ 色や形, 大きさに着目して分類 すること。 ㊧ 身近なものを目的, 用途及び機能に着目して分類 すること。	知識・技能	・色や形, 大きさに着目して分類 している。 ・身近なものを目的, 用途及び機能に着目して分類 している。
思考力・判断力・表現力等	㊦ ものを色や形, 大きさ, 目的, 用途及び機能に着目し, 共通点や相違点について考えて, 分類する方法を日常生活で 生かすこと。	思考・判断・表現	ものを色や形, 大きさ, 目的, 用途及び機能に着目し, 共通点や相違点について考えて, 分類する方法を日常生活で 生かしている。
学びに向かう力・人間性等	※2段階の「B 図形」ウの目標参考 ウ 図形 に関心をもち, 算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって 学ぶ態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	ものの分類 に関心をもち, 算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって 学ぼうとしている。 ※ 必要に応じて評価の観点及びその趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。